

## 報告

◎ 昨年、法・經兩學部分立に伴い、研究機關誌もその獨立が期待されてゐたが、遂に滿一年を経て實現を見、大正九年以來、三十年と九十一號の赫たる業績をもつ「同志論叢」はここに「同志社法學」、「經濟學論叢」として夫々繼承される事になつた。會員、校友諸氏の一層の御期待と御援助を乏う次第である。

◎ 四月には教授陣容も新たになり、六月には第二號として紀念論文集の大冊を刊行する予定である。

### 經濟研究會報告

第九回 十月二十八日

發表者 林 恒 男 助手

題「リカードの比較生産費説と國際貿易の利益に

CSM」

出席者 宗藤、中西、松山、中島、相見、岩根、小野

第十回 十一月十一日

發表者 松 好 貞 夫 教授

題「大塚史學の類型概念について」

出席者 宗藤、中西、松山、岡村、中島、相見、林、

小野

第十一回 十一月二十五日

發表者 岩 根 達 雄 助 教授

題「ケインズの景氣理論についての方法論」

出席者 宗藤、中西、松山、中島、相見、林、小野

第十二回 十二月九日

發表者 松 好 貞 夫 教授

題「マックス・ウェーバーの理念型について」

出席者 宗藤、中西、松山、岡村、中島、黒松、相見

岩根、林、小野